

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472601812	事業の開始年月日	平成15年4月1日	
		指定年月日	平成15年4月1日	
法人名	社会福祉法人 久寿会			
事業所名	グループホーム 中の郷			
所在地	(2 5 2 - 0 3 5) 相模原市緑区大島 1 6 0 6 - 1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	27名	
自己評価作成日	平成23年12月27日	評価結果 市町村受理日		
			ユニット数	3ユニット

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>毎日の生活を安心して過して頂くと同時に、楽しみ・張りのある生活を感じて頂けるよう、地域との関わり、ご家族参加の行事、ボランティアの取り入れ、毎日の買い物、楽しみの外食、外出、個別対応、などを取り入れ、又、毎日の散歩コースでの畑道では、四季折々の野菜、お花を見ながら季節を感じ楽しまれています。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成24年1月20日	評価機関 評価決定日	平成24年5月1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所概要】 この事業所はJR横浜線・相模線、及び京王線橋本駅からバスで20分位、バス停から徒歩3分程の静かな場所にあり、同一法人の特別養護老人ホーム、ケアハウスなどが隣接してある。建物は鉄筋コンクリート造りの2階建てで、1~2階がグループホーム、1階にはデイサービスが併設されている。デイサービスで歌や踊りなど催し物があるときは利用者も参加している。</p> <p>【理念に基づいたケアなど】 「安心して暮らして頂ける家作り」を柱にした理念があり、利用者の出来る事を大切にその人のペースで生活してもらえることを目指している。毎日の散歩や買い物のほか、月1回ぐらいの頻度でユニットごとにドライブや外食などの機会があり、積極的に戸外に出かけている。外出時の利用者の笑顔は、職員のやりがいにもつながっている。年間計画に基づいて実施される研修、会議時の自主勉強会などを通じて職員はレベルの向上に努めている。</p> <p>【看取りについて】 医師が終末期と判断した場合、家族の意向を確認して看取りを行う。これまでに3件の実績がある。</p> <p>【地域との関係】 「中の郷」自治会に加入し、どんど焼きなどの行事に参加している。法人と合同の納涼祭には、地域の方が多数参加して交流している。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム中の郷
ユニット名	ゆり

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケース記録の一番前に挟んであり、職員は毎日見る事が出来る。また、ミーティングなどで話し合い共有している。	理念は「安心して暮らしつづけられる家作り」が柱になっている。現管理者が職員と話し合い、開所時の理念を基に作り上げた。理念は職員に浸透し、利用者の出来る事を大切にしている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩に出掛けた時など、出会った人たちとあいさつを交わしたり、自治会のどんと焼きに参加している。また、納涼祭では地域の方の参加もあり交流を深めている。	「中の郷自治会」に加入し、どんと焼きなどの行事に参加している。どんと焼きの際、地域の方から宝船をもらった。納涼祭には地域の方が多数参加されている。オカリナ、習字のボランティアが月1回、事業所を訪れて利用者を楽しませている。	認知症についての介護相談や勉強会を開催するなど、さらに地域との交流を目指すことが望まれます。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に、自治会長が出席されており理解されていると思うが、地域の方々までは理解出来ないと思う。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催しており、情報や報告、意見の交換などを行ない話し合っている。	運営推進会議は家族、自治会長、地域包括支援センター職員、民生委員、職員などが参加し、2ヶ月に1回、開催されている。会議では、事業所の活動報告や参加者との意見交換などが行なわれている。第5回（1月26日）は外部評価受審などが議題になった。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	推進会議に地域包括支援センターの職員も出席しており、協力関係を築けるよう取り組んでいる。	相模原市高齢者福祉課、介護保険課に事業所の実情などを報告をしている。また担当職員は相談に応じてくれる等協力的である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が理解しており利用者が安心して暮らして頂けるよう心掛けている。エレベーターは暗証番号であるが、理解出来る方には教えてあり難しい方はその都度対応している。</p>	<p>拘束検討委員会が設置され、職員は身体拘束の研修を受けている。事業所で身体拘束は行われていない。玄関、ユニット出入り口、居室の施錠はしていない。利用者は他のユニットを訪れ、気分転換して行くこともある。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内研修があり、管理者や職員は理解している。また、常に職員同士情報交換し、見過ごす事なく利用者が安心して生活が送れるように努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>全体会議等において学ぶ機会があり、必要に応じて支援できるよう取り組んでいる。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時、退所時十分に説明を行ない理解して頂いている。不安や疑問点には、納得がされるまで話し合い理解されるまで話し合っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱が設置されており、いつでも投函出来るようになっていた。また、家族懇談会や面会時等に意見要望を聞き、要望に応えられるようにしている。</p>	<p>訪問時、運営推進会議、年2回の家族会など、家族は意見を出す場がある。運営推進会議時に家族から他のユニットについて質問を受けたり、家族会では利用者との外出先について相談をしたりしている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員は提案や意見があれば、いつでも施設長や管理者に、話す機会があり迅速に対処してくれている。	職員は、ユニット会議、ミーティングなど意見を出す場がある。年2回の人事考課でも個別に意見が出せる。職員の提案はなるべく一度試すようにしている。ユニットのイベントなどは職員の意見を積極的に取り入れている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設長や管理者は、職員が掲げている目標を把握しておりやりがいや向上心が持てるように研修の参加を促したりしより良い環境になるように心掛けている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に参加する機会も多く、施設長や管理者は職員に参加を促してる。また、施設内研修も多く行なっている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム部会があり、様々な事例について話し合い勉強する機会がある。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に困っていること不安なことに耳を傾け安心して暮らして頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安なこと、要望を聞き安心できるように関係づくりに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が何を必要としているのかをよく聴き支援出来るように努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理の味付けなど教わったり昔の話などを聞いたりし楽しく暮らせるように信頼関係を築いている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族が交流できる機会を多く設け、家族と共に本人を支えて行く関係に努めている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	家らしい雰囲気を作れるよう心掛け、知人、友人等の訪問も本人や家族の要望があれば支援している。	友人などが遊びにこられた時は、お茶を出し、居室や共有空間で過ごしてもらっている。個別の外出支援で馴染みの麻溝公園の菊祭りに職員が同行して行ったことがある。家族と馴染みの美容室を利用する方もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で楽しく行なえる体操やレクリエーション、お茶を飲みながらの談笑など利用者同士協力しながら行なえる支援を心掛けている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特養に移られた方などは、職員は気軽に会いに行く事も出来、家族の方も会いに来たりと交流が多く必要に応じ相談に応じている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で意向を聞いており困難な場合は、家族からの情報をもとに本人本位に検討している。	利用者の日常会話の中から思いや意向を把握している。把握が困難な方は家族から話を聞いたり、利用者の様子を見ながら判断している。職員はミーティングや連絡帳を閲覧して情報を共有している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報、本人との会話から把握し支援に活かしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員同士の情報交換を密に行ない現状を把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月に1回担当者会議を開き職員や家族の意見などを聞き担当者がまとめて見直しを行なっている。また、利用者の状態の変更などがあった場合すぐに対応し作成している。	アセスメントで状態を確認し、利用者、家族、必要な方には医師の意見を反映させて介護計画を作成している。介護計画の見直しは通常3ヶ月に1回で、利用者担当者が草案を作成して他の職員と担当者会議で意見交換を行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録があり、毎日の出来事を記録に残している。また、職員間では連絡帳等により情報を共有し介護計画に活かしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員は、毎日利用者と密に接する事で利用者の要望や家族の思いなど必要な支援が分かり皆で相談し取り組んでいる。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	習字、オカリナなどのボランティアが来ており楽しめるよう支援している。また、消防署との避難訓練も行なっている。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を大切にしており、個々によりかかりつけ医が違う。また、提携病院があり2週間に1回の往診を受けられている利用者もいる。	入居前からのかかりつけ医を受診している利用者は5名であり、受診は家族の対応になっている。受診結果は家族と共有している。往診などは、内科医が月2回、歯科医、訪問看護師がそれぞれ週1回ある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回の訪問看護があり、利用者の体調などを相談している。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	情報交換や面会時に相談したりし早期に退院出来る様努めている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人、家族、施設において十分お互いが納得するまで話し合いその人らしい終末期が送れるよう支援している。また看取りマニュアルや研修があり職員はよいケアが行なえる様心掛けている。	看取りのマニュアルがあり、職員は看取りの研修を受けている。家族に「看取り介護指針」を渡し、内容を説明している。これまでに3件、看取りの実績がある。食事がとれず、医療行為の必要が無く、医師が終末期と判断し、家族の希望がある場合には、医師より家族に説明を行い看取りを行う方針である。	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	消防署による救命救急の訓練を行っている。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	消防署による消防訓練を行っており、マニュアルにより避難の方法を身に付けている。	年2回(うち1回は夜間を想定)避難訓練を行っている。1回目の訓練は利用者と一緒にいき、その様子を消防署に報告した。消防署から助言を受け、2回目の訓練では危険性に配慮して職員のみで行った。災害時は同一法人の特養等と連携する。備蓄庫に発電機、水、食料品3日分のほか、各ユニットにも冷凍品、缶詰などを備蓄している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の誇りやプライバシーを尊重し、言葉かけや対応には十分気をつけ対応している。	職員は、プライバシー保護、接遇の研修を受けている。ユニット合同会議でケアや言葉遣いについて自主学習をしている。個人情報を含む書類は鍵のかかる机の引き出しに保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりに合わせた声掛けを行ない、自身の思いの表出や決定ができるよう支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせた支援を心掛け、利用者の希望を優先した支援に努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	女性の方は、化粧をされたりマニキュアを塗られたり、おしゃれができるように支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好きなメニューを取り入れ、一緒に野菜切りをしたり、食器洗い、片づけを行なっている。	利用者の好みを反映させ、ユニットごとに職員が献立を作成している。年2回程度、管理栄養士に献立を確認してもらっている。利用者は、買い物、食事の準備、片付けをしている。職員も利用者と同じものを同席して食べていた。外食、出前を月1回づつ楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の記録をつけており1人ひとりに応じた支援を行なっている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自身で行う方、支援にて行なう方がおり、その方に合わせた支援を行なっている。また、必要に応じた支援を行なっている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を大切に、時間ごとに声掛け、誘導おこない自立に向けた支援を行なっている。	排泄チェック表により、全員の排泄パターンを把握している。その人により、時間を見て誘導している。昼間は全員トイレを利用している。夜間はポータブルトイレを利用する方もいる。紙パンツやパットを使用していた方が、布パンツに戻ったケースがある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品、繊維が豊富なものを食べて頂くと共に散歩、体操を行ない体を動かしている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴したがる方には、無理強いせず時間を置いて対応し、タイミングに合わせた支援を行なっている。	基本は2～3日に1回、14時～17時位に入浴している。希望があれば毎日入浴ができる。入浴したがる方には気分のよさそうな時に声をかけて入浴をしてもらっている。菖蒲湯にしたり、歌が好きな方には風呂場で音楽を聞いてもらうなど楽しめるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>使い慣れた家具などを自室に置いていただき安心して眠れるよう支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>全員は把握出来ていないが、個人ファイルに処方箋が挟んであり確認出来るようになっており、理解出来るようにつとめている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの趣味等で楽しんで頂けるよう心掛け、支援行っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>毎日買い出しや散歩に出掛けている。月に1回皆で相談し外出に出掛けている。また、本人の希望がある場合は、家族に相談し出掛けられるように支援している。</p>	<p>散歩や買い物は毎日出かけている。法人の車を借り、車椅子を載せてイチゴ狩り、宮が瀬のイルミネーション見物、城山、鹿沼公園、鎌倉の大仏など、1ヶ月に1回ぐらいの頻度で出かけている。1日掛けて出かける場合は、ユニット全員で出かけている。家族にも参加してもらうことがある。</p>	<p>外出支援は大変積極的に実施していますので、今後も継続されることを期待します。</p>
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で管理出来る方は、お金を所持している。また、お金を持つ大切さは職員は理解しており、個人の買い物に出掛けた時などは、お金を渡し見守りしながら支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたい時は、公衆電話まで一緒に付き添い支援を行なっている。また、手紙やはがきを書かれている利用者もいる。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気の中居心地良く過ごせるよう温かみのある作品を作り、飾られている。	空気清浄機、加湿器などを使用し、換気、空調に配慮されていた。ユニットごとに、利用者と手作りした大作の布製カレンダーを掲示したり、布で手作りした額縁に利用者が書いた書初めを飾るなど温かみのある空間になっている。リビングにはテレビ、ソファなどがあり、ゆったり過ごせる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者と一緒に座れるソファもあり、思い思いに過ごせるよう工夫している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に協力して頂き、今まで使っていた家具等を置いて頂き、居心地よく過ごせるようにしている。	各居室には洗面台、クローゼット、換気扇などが設置されている。利用者は、仏壇、キャビネット、椅子、家族の写真などを持ち込んでいる。ベットを使用せず、和風の部屋にしている方もいる。その人らしい部屋作りができるようになっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室ドアに表札やのれんが掛けており部屋が分かりやすくなっている。また、ホーム内はすべてバリアフリーになっており安全である。		

平成 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472601812	事業の開始年月日	平成15年4月1日
		指定年月日	平成15年4月1日
法人名	社会福祉法人 久寿会		
事業所名	グループホーム 中の郷		
所在地	(252-0135) 神奈川県相模原市緑区大島 1606-1		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	27名
		ユニット数	3ユニット
自己評価作成日	平成23年12月27日	評価結果 市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日の生活を安心して過して頂くと同時に、楽しみ・張りのある生活を感じて頂けるよう、地域との関わり、ご家族参加の行事、ボランティアの取り入れ、毎日の買い物、楽しみの外食、外出、個別対応、などを取り入れ、又、毎日の散歩コースでの畑道では、四季折々の野菜、お花を見ながら季節を感じ楽しまれています。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 中の郷
ユニット名	けやき

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念は掲示してあり職員間共有されている。利用者様が安心して暮らせるよう常に心掛け理念に基づいた支援にあたれるよう職員間で定期的に会議などでも話しあわれている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>毎日の散歩で地域の方と挨拶し、畑道では野菜や花を頂いたり交流がもたれている。自治会に加入し地域消防訓練に参加している。ボランティアの受け入れも行われている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>日常的な交流や運営推進会議などを通して理解して頂けるようにしている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催されており事業所の活動状況、事業計画、家族懇談会、看取り介護、外部評価について報告し、意見や要望、助言を受けサービスの向上に努めている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>地域包括センターの職員も集積されており協力関係築けるよう取り組まれている。日頃から連絡を取り情報を得ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者に安心して暮らして頂けるよう心掛けて対応されている。身体拘束しないケアについては職員全員が理解している。</p>		
	7	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止は常に注意し防止に努めている。専門知識の向上や意識の向上の研修、職員間の交流により防止にも繋がっている。</p>		
	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修や勉強会で学び全職員が理解し活用できるように努めている。</p>		
	9	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入・退所の時は利用者や家族に十分説明され理解して頂けるように努められている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置や意見等を伺える機会を設け、家族会や面会の時など意見や希望などを聞ける機会もあり職員間で情報を共有し要望に応えられるよう対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議で職員の意見を話し合う機会があり意見の反映はされやすい。日常業務に管理者も入り職員と一緒に業務される事多く意見や提案の反映されている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期で目標管理シートや業務管理シートを作成し上司と面談し就業する事で職員は就業に短期目標を持ち向上心に繋がっている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要に応じ研修への参加を提供している。 毎月のグループホーム全体会議で研修が行われている。働きながらのスキルアップが図られている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定期的にグループホーム部会があり、市内の他施設と事例を持ち合い勉強する機会がある。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の理解者として受け入れて頂けるように常に耳を傾け寄り添えるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が不安におもいう気持ちや要望に耳を傾け、協力しあえる関係づくりに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人が必要とされている事や家族が望まれる事、その時に必要な事を見極め対応出来るように努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	買い物から食事作り食器洗い、洗濯干しからたたみ物、ゴミ捨ても利用者にして頂き、隣に添い過ごしている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事などには家族に参加して頂けている。面会の機会も多く利用者の現状も理解され利用者を職員と家族が共に支えていく関係築けている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	利用者の大切にしてきた人や物や場所などの話を聞き共感し、外出や外泊又気軽に訪問できる支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の人間関係もあり職員も把握できている。 利用者同士の意志を大切にし、関わりを深めその時々合った支援に努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	久寿会の特養に移られた利用者は機会がある度に関わりをもつ事がある。退所された方から連絡を頂いた事はないが、あれば以前と変わらず支援に努めたい。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己決定を大切にし、思い希望にそった暮らしを送って頂ける様に努めている。ミーティングでも本人の意向にそった支援に繋がるように話し合い対応されている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族に利用者の生活歴や嗜好など情報を頂き理解を深め日常生活からも把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に変化ある為 職員間の情報交換、観察、記録で全職員が把握できるように務めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	見直し期限時や状態変化のある時はモニタリングやアセスメントを行いケアプランを作成している。状況により医師の意見も反映され家族、本人の希望もくまれている。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個別ケース記録はケアプランにそって記入し、情報や気づきに関しても記入されている。また、連絡帳や毎日の申し送りで引きつがれ記録に残しプランに繋がっている。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々で生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	その方の状況に応じ必要と思われる支援はその時々で柔軟に対応されている。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	散歩、買い物、地域ボランティアとの関わりで活気を持ち個々の暮らしを楽しまれている。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	家族や利用者の希望を優先し提携病院以外の医療を受けられてる方もおり納得された医療を受ける事が出来ている。月2回提携病院による往診が行われている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週の訪問看護にて看護師と情報の共有し利用者の日常の気になる事などを相談し連携行われている。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	安心して治療を受け又早期退院を目指して医療関係者との連携に努めている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	看取り検討委員会でマニュアルが作成され終末期ケアの職員研修も行われた。本人・家族・施設で方針を共有し取り組んでいる。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的に救命救急の講習や訓練なども行われている。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	定期的に訓練行われている。また消防のマニュアルもあり、職員は避難方法や手順も身につけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊厳や尊重、個人情報の取り扱いは常に意識し対応している。職員は法人全体研修と事業所内研修を受けている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でその方その方に合わせた対応で自己決定の機会を多くし、その人らしい生活を送って頂ける支援を心掛けている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今食べる。後で食べる。散歩に行く。今日は行かない。風呂に入る。今は入らない。自己決定を大切に希望にそって支援しその日の利用者の状態を観察する事が出来ている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	男性利用者は毎朝の髭剃り。女性利用者は声掛けや支援にて楽しみながらおしゃれが出来るように支援出来ている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ユニットごとに献立作成し個々の利用者の嗜好や健康状況に配慮した食事内容にしている。また屋上では野菜を作っており収穫から料理まで楽しみながら行われている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量・水分摂取量は個別に毎回記録され情報とし活用している。職員も共に食事する事で利用者個々の嗜好や状態を把握出来ている。献立も栄養管理師にアドバイス受けている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自立されている方は各自で行われている。自身で行えない方は支援にて行われている。毎週水曜日に歯科回診あり定期や必要時で口腔ケア行われ清潔保たれている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄記録や状態の情報共有に努め、排泄パターンを把握し最小限の支援で自立して行えるよう支援している。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>乳製品や食物繊維を多く食べて頂ける様に献立も考えられており、起床時の飲水、毎日の体操や散歩も意識を持ち取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>希望タイミングで入浴出来ている。2日に1回程の割合だが希望される方は毎日入れている。入浴を拒む方は無理には行わずタイミングで気分良く入浴して頂けるように対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>自室には使い慣れた物や大切にされていた物が置かれておりプライベートスペースとして使用し、いつでも安心して過ごして頂けるよう支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ファイルに処方箋が挟まれており職員は常に確認出来るようになっている。薬の変更や状態の変化などは連絡ノートとケース記録、申し送りでの共有も出来ている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活の中で好まれている事など職員間で随時情報を共有し楽しく生活に参加して頂けるように支援行われている。また得意な事を役割として行い張り合いにも繋がっている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日常的に外出行われてる。また本人希望を引き出し家族と協力しながら個別の外出を楽しむ支援も行っている。外泊や外出も家族協力にて行われている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理が出来る方はお金を所持し買い物などに出かける支援も行うが管理の難しい方はご家族と連絡を取り対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたい要望がある時は付き添い支援行っている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家での生活を心掛け居心地の良い空間作りを工夫している。 利用者と毎朝一緒に掃除したり季節に合った物を飾ったりしている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う仲間同士で談話したりテレビを見て楽しめたり、一人用のソファも配置されており共有スペースの中でも昼寝をされる方もいて安らげる空間は出来ている。 家族に協力して頂き家で使っていた家具や物を置いて工夫している。使い慣れた家具や好きな色の布団カバーなどで心地良く過ごして頂けている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に協力して頂き、居室は家で使っていた家具や物や布団などを置き、季節ごとの衣替えは家族協力で行われている。その都度、本人や家族と相談しながら心地良い空間を工夫している。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が出来る事やわかる事を出来る限り自立し行って頂ける様に常に危険物収納ドアの施錠は気配りされ、安全で自由に行動できる環境作りに取り組んでいる。		

平成 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472601812	事業の開始年月日	平成15年4月1日
		指定年月日	平成15年4月1日
法人名	社会福祉法人 久寿会		
事業所名	グループホーム 中の郷		
所在地	(252-0135) 相模原市緑区大島1606-1		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	レ 認知症対応型共同生活介護	定員計	27名
		ユニット数	3ユニット
自己評価作成日	平成23年12月27日	評価結果 市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日の生活を安心して過して頂くと同時に、楽しみ・張りのある生活を感じて頂けるよう、地域との関わり、ご家族参加の行事、ボランティアの取り入れ、毎日の買い物、楽しみの外食、外出、個別対応、などを取り入れ、又、毎日の散歩コースでの畑道では、四季折々の野菜、お花を見ながら季節を感じ楽しんでいます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム中の郷
ユニット名	ひばり

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケース記録に挟み、常に確認、共有し、実践できるように努めている		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	納涼祭やどんど焼き等行事で地域の方々との交流がもてるように努めている。又、ボランティアの方を招いたり、散歩に行くことにより、野菜、花等頂いたり良い関係が築けている		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で町内会長も出席されており、理解されている		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	常に報告、意見交換し、サービス向上に努めている。又、2ヶ月に1回家族、地域包括支援センターの担当者、民生委員、自治会長の参加で開催されている		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議に地域包括支援センターの職員も集積しており協力を築けるように取り組んでいる。市の福祉課には、運営推進会議の報告など協力関係が築けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が理解し、利用者方が安心して生活できるように見守り重視し、実践している。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修の機会を持ち管理者、職員共、常に注意し防止に努めている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強会を開催し全職員で理解、活用できるように努めている</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明をし、理解、納得をされている。面会時など、意見が言えるような関係を保っている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置し、意見や要望を聞いている。また、家族懇談会や行事等でも質問等、意見を交わしている</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議やミーティング、また日頃から管理者、職員間での意見や提案を大事にしている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員ごとに目標を掲げ、業務に取り組むことができている		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人研修、施設内研修への参加する機会を増やすことで取り組んでいる		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム部会での事例検討、勉強会、合同行事や、施設見学などの機会がある		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の状況を見極めて支援を行ない、信頼関係を築き、安心して生活できるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安や要望を聞き安心できるような関係になるよう努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が何を必要としているか見極めて対応できるよう努めている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事など、お手伝いをさせていただいたり、家族のような関係が築ける様心がけている		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族が交流できるような機会を設け、また、家族、職員間のコミュニケーションをとることで、共に支えて行く関係を大切にしている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自分の家だと思っていただけるように雰囲気作り、環境整備に気をつけ、家族、友人の来所時一緒に過ごせるスペースを確保している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の行動、レクリエーションができるよう支援している。また、孤立する方がないように、職員が間に入り良い関係性を保てるよう努めている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族の要望、必要に応じて相談、支援できるよう努めている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	1人1人の思いにそえるよう普段の会話などから聞き出し、ミーティングや連絡帳等で情報の共有を図り		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個別ファイルをみたり、ご家族からの情報を参考に把握し、対応できるように努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人にあった過ごし方、身体状況による過ごし方を把握できるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプランを3ヶ月ごとに見直したり、意見等出し合いより良く過ごしていただけるよう検討、作成している</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録とは別に簡易に記入できる個別記録用紙を作り情報交換を行なう事で支援に活かしている。又、介護計画の見直し時にも反映されている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>日頃から、利用者観察を行ない、その時々に合わせて、柔軟に支援できるよう取り組んでいる</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>クラブ、ボランティアなどの地域資源を活用し、楽しみのある暮らしが送れる様支援している</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>決まった先生の定期往診がある。また、本人や家族の希望を大切に昔からなじみのある病院をかかりつけ医にしている利用者の方もいる</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週に1回訪問看護にて、利用者の状態等伝え、対応していただけている		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	病院と情報交換をし安心して治療ができるように努めている		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人、家族、施設で話し合い書類を交換している。また、看取り介護指針を基に医師と家族で話し合い、それをうけて職員間で方針を検討し取り組んでいる		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	救命救急の講習会にて対応の訓練を行ったり、マニュアルを作成し対応できるようにしている		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	定期的に避難訓練を行なっている大沢地区の防災訓練には職員が参加している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳やプライバシーに配慮し個人情報の取り扱いについて、十分注意している。また、接遇の研修会の参加にも取り組んでいる		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定出来るような支援ができるよう努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に沿って、その人らしい生活ができるよう支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧、白髪染めを行ったり、その日着る洋服の自己決定などできるよう支援している		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に買い物、食事の準備、片づけを日頃から行っている。また、屋上で野菜を育てる事で、食事の楽しみも増えている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分、食事摂取量を記録している。また、その人にあった食事量で提供している</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食行なっている方と、夕食後だけの方がいる。ご本人には出来る範囲で口腔ケアを行なって頂き、出来ない事は支援している。歯間ブラシを使用し清潔保持されている方もいる</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個別に排泄パターンを探り支援に活かしたり、できるだけ自立で排泄できるように介助、支援行なっている</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>乳製品、繊維質の献立にて対応している。日課の体操を行なう事で予防に取り組んでいる</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個別の希望に沿って入浴の声かけを行なっている、入浴を楽しめるよう、歌をうたったり、会話を楽しんだり、入浴剤にてリラックスしていただけるよう支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>安心して眠れる様に、使い慣れた寝具をしようしたり、居室作りをしている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の処方箋を、個別ファイルに挟み、すぐに確認できるよう挟んでおり、目的、副作用等理解できている</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>1人ひとりに合わせた楽しみ事や役割をみつけ、日々の生活に取り入れられるように努めている</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>月に1回は外出し、気分転換を図っている。個人的に外出の希望がある場合は、実現できるよう、職員間やご家族と相談し支援行なっている</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現金を持っている利用者はいないが、職員は本人がお金を持つ事大切さは理解している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書ける様支援したり、要望があればいつでも電話で話せることは伝えている		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースでは季節に合った飾り付けや、花を飾り心地よく過ごして頂けている。リビングの窓は大きく、日ざしも入り明るい		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士、一緒に座って会話ができるように、ソファ等配置し思い思いに過ごして頂けている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は使い慣れた家具や本人の好みの物があり、心地よく過ごしている。事業所は居室作りについてアドバイスを行なっている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の居室ドアにはのれん、表札がつけてあり解り易くなっている、ユニット内バリアフリーになっている為、安全に生活できている		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム中の郷

作成日 平成24年 5月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	認知症の進行と共に歩行不安定の方が多くなっていく中、今までと変わりのない外出支援の継続。	一人一人寄り添った外出支援を行なう。	<ul style="list-style-type: none"> * 職員研修にて支援力のスキルアップ。 * ご家族の協力の得ながらの外出支援 	1年間
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。